

平成 14 年度工業技術センター事業計画（ 1 ）

<p>主要研究</p>	<p>14年度は、創業・新産業開発支援機関を目指し、「いわて産業振興ビジョン」の施策の方向に沿って、戦略的に取り組む研究分野を定めるなど、下記の研究事業を推進する。（詳細は各部の事業計画に記載）</p> <p>戦略的に取り組む研究</p> <p>(1) 環境・エネルギー分野 「木質バイオマス燃焼装置試作開発事業」(プロジェクト 予算 5,000 千円)</p> <p>(2) 基盤的技術分野 「素材再利用による新材料製造技術開発事業」(プロジェクト 予算 26,930 千円)</p> <p>(3) 地場産業分野 「ユニバーサルデザイン開発技術普及推進事業」(プロジェクト 予算 3,344 千円)</p> <p>主要研究</p> <p>医療・福祉 「福祉機器開発事業」(プロジェクト 予算 5,057 千円) 情報通信 「次世代クリエイティブソリューションシステムの開発」(共同研究 予算 1,338 千円) 「CADデータ変換に関する支援事業」(特定産業集積活性化 予算 1,552 千円)</p> <p>新製造技術の開発 「超精密切削加工技術の開発」(特定産業集積活性化 予算 1,800 千円) 「工具摩耗自動補正機能を持つオープンCNCシステムの開発」 (共同研究 予算 1,540 千円) 「アクティブセンシングによる非破壊検査システムの開発」(共同研究 予算 1,800 千円) 「オーステンパ球状黒鉛鋳鉄の高度化」(特定産業集積活性化 予算 2,498 千円) 「SQID応用計測システムの開発」(共同研究 予算 6,469 千円) 「酸化物超電導バルク材料の接合に関する研究」(共同研究 予算 4,455 千円) 「磁気活用による有機めっき法における膜制御技術の研究」 (共同研究 予算 976 千円) 「県産清酒の品質向上に関する研究」(共同研究 予算 3,000 千円) 「山ブドウの成分分析及び新商品開発に関する研究」(共同研究 予算 788 千円)</p>
<p>基盤的・先導的研究</p>	<p>テーマの選定方針</p> <p>14年度は、基盤的先導的研究推進事業の研究課題は、公募等により選定することとし、下記の研究分野に優先的に取り組む。</p> <p>優先課題： 創業・新産業創造を支援する技術課題 産業界に共通性のある技術課題 地域への波及効果がある技術課題</p> <p>優先分野：環境、IT、バイオ、福祉、新製造技術</p> <p>選定方法：公募、所内審査</p>

平成 14 年度工業技術センター事業計画 (3)

<p>技術支援・相談</p>	<p>(4) 技術講習会：各部で開催 (69回) (5) 研究会：各部で開催 (31回) 異業種交流・人材交流等を目的として、下記の6研究会の運営や事業等の活動を支援する。 岩手県材料応用技術研究会 岩手県メカトロニクス研究会 岩手県商品開発研究会 岩手県接合技術研究会 岩手県食品加工研究会 岩手県非鉄金属加工技術研究会</p>
<p>設備開放・依頼試験</p>	<p>「工業技術センター丸ごとガイドブック」等の利用ガイドを企業に配布し、設備利用や依頼試験の利用促進を図る。 (1) 設備開放 特に特定産業集積活性化事業 (H9～) 福祉機器開発関連設備 (H10) ものづくりIT事業 (H12) などで導入した設備の説明会開催、交流・連携事業で企業の利用を促進する。 H14 設備整備予定：特定産業集積活性化事業関連 (予算 179,602 千円) 日本自転車振興会設備整備関連 (予算 39,900 千円) ウオータージェット加工機 レーザー三次元測定器 樹脂金型設計評価システム 精密磁化測定装置 熱分析システム 全自動接触角測定装置 高温摩耗試験機 高温ビッカース硬さ試験機 設備開放については各企業支援機関 (花巻、北上、一関) の設備も併せて企業に紹介し、県内各機関の設備利用も促進する。 (2) 依頼試験 試験、検査の設備を持たない企業のために、工業製品材料の試験分析、計測などを行い成績書を発行する。 また、あらたに食品系の定量、定性試験、微生物試験を行う。 (年間 2,200 件) (3) 頒布他 純粋清酒酵母を培養して県内酒造会社に頒布し品質安定化を図る。</p>
<p>他機関連携支援</p>	<p>共同研究 (国、県、市町村、企業団体、大学) 組合等からの受託研究、産業集積活性化事業関連機関との連携、いわて産業振興センターとの連携、各地企業支援機関との連携、組合支援及び地域プラットフォーム支援機関等との連携を密にして県内企業の支援を行う。</p>
<p>情報提供</p>	<p>(1) ホームページ等による情報提供 ホームページ これまでのホームページの構成を利用しやすくリニューアルし、研究報告書、定期刊行物、専門図書、試験機器のデータベースを公開する。 企業の利便性を高めるため、センターの利用方法、研究テーマの募集、行事案内等を掲載し、利用普及に努める。 工業技術センターニュース 講演会、研究会など一般にも周知すべきものはニュースとして提供しているが、ニュース内容をホームページに掲載し周知を図る。 (2) 印刷物等 研究成果集、技術情報誌、研究報告書、業務報告、丸ごとガイドブック、岩手県産業支援機関まるごと設備ガイド (CD-ROM) を配布する。</p>

平成 14 年度工業技術センター事業計画（４）

	<p>(3) 知的所有権 特許公報の閲覧、特許流通情報等情報提供の他、特許流通、特許情報検索アドバイザーにより、県内企業の特許戦略を促進する。</p> <p>(4) 研究発表会、一般公開等</p>
<p>その他</p>	<p>(1) 岩手大学との連携 岩手大学連携大学院に設置する工学部工学研究科の客員研究員として協力し、岩手大学との連携をより強化する。</p> <p>(2) 設備利用状況等の公開 設備の概要、利用状況などについて、従来の刊行物やホームページ以外にメーリングリスト等の活用について検討し、より一層の情報公開を行う。</p> <p>(3) センター利用満足度調査 今後の業務の参考にするため、センターを利用した企業から利用に関する満足度調査を実施する。</p>